

千葉市土気公民館 ふれあい届け隊

公民館と高齢者施設をつなぎ リモートでコンサート



公民館から地域に元気をお届け！

参加者 各回60～90人

高齢者施設 5カ所以上

（千葉市緑区内の特別養護老人ホーム・グループホームなど）



ねらい

コロナ禍におけるイベント中止やボランティア機会の減少などの課題に対して、感染症対策をとりながらも、学びを地域に還元する新たな発表の場を創出したいと考えた。そして、公民館から地域に元気を届けると同時に、出演者が誰かの役に立つ達成感を感じ、モチベーションを維持し、新たなボランティアの機会をつくることにより、サークル活動のさらなる活性化を図ることを目的とする。



連携先 ～各団体の強み・特性を活かして連携～

社会福祉協議会（生活支援コーディネーター）

↓ 配信先の高齢者施設の選定や調整

公民館

↑ 企画および団体間の連絡や調整

生涯学習センター（ボランティアセンター）

配信サポート（機材調達含む）

登録ボランティアの活動支援

実施日時

- ① 2/26（金） 箏・尺八
- ② 3/25（木） ウクレレ・フラダンス
- ③ 7/27（火） ハーモニカ
- ④ 11/27（土） 中学校の吹奏楽部

すべて14:00～14:30



参加者の感想ならびに今後の展開

「とても幸せな時間を過ごすことができた」「学校で歌ったのを思い出し、大変楽しかった」「コロナ禍でなければ、懐かしい曲を皆で歌いたかった」…。

鑑賞された高齢者施設の入居者の方から、演奏や曲そして今回の企画に対して、多くの感想が寄せられました。アフターコロナにおいても、新しいボランティアの形として、継続的に取り組んでいくとともに、今後は、市内でノウハウを共有することにより、本活動を市内に拡大していきたいと考えている。